

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 17 番

氏名 永見 利久

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、新型コロナウイルス感染症の予防対策について

新型コロナウイルス感染症の発生以降、学校をはじめ様々な所で3密回避などの感染症対策に取り組まれ、冬期に流行する感染症も少なかったが、5 類移行後は活動制限が緩和され、昨年夏以降、様々な感染症が流行した。

最近また、新型コロナウイルス感染者も増え始め、今年7月末から8月上旬にかけて、島根県内の感染者数は600人を超え、浜田保健所管内では120人以上の方が感染状況にあるとの報道もあったため、これに関連した質問をする。

(1) 感染予防について

- ① 新型コロナウイルスが 5 類に移行になり、活動制限が緩和されたことが再度の流行につながっているのではないかとと思うが、市としての見解を伺う。
- ② 新型コロナウイルスの感染者の年齢層を把握することが感染予防に役立つと考えるが、浜田保健所管内での状況を伺う。
- ③ 集団感染リスクの高い学校における制限緩和後の感染対策について伺う。

(2) ワクチン接種の有料化について

新型コロナウイルスは昨年12月以降から新規感染者が増え始めたと厚生労働省の発表もあった。昨年9月以降に始まったワクチン接種は、オミクロン株からの「XBB」系統に対応しており、それが新たな変異株の「kp3」に対しても重症化予防につながるの見解もある。それらに関連した質問をする。

- ① 新型コロナワクチンの接種費用は、これまで全額公費であったが、4月からは有料になった。ワクチン接種の状況について伺う。
- ② ワクチン接種有料化と感染者増加の関連性について、市としての見解を伺う。
- ③ ワクチン接種に対する支援をするつもりはないか伺う。

2、不登校児童生徒への対応について

児童生徒健全育成事業における、不登校等児童生徒の教科指導・体験活動等演習を行う教育支援センター山びこ学級、不登校児童生徒の居場所の校内フリースクール事業、そして、昨年 9 月に、不登校児童生徒への支援について、総務文教委員会が市長、教育長に提出した提言書の内容などに関連した質問をする。

- ① 不登校及び不登校傾向の児童生徒数の現状について伺う。
- ② 不登校及び不登校傾向となる原因についての認識を伺う。
- ③ 不登校児童生徒の日中の過ごし方について、どのように把握しているのか伺う
- ④ 不登校児童生徒の学校への復帰の希望についての現状を伺う。
- ⑤ 現在の山びこ学級の利用者の状況について伺う。
- ⑥ 校内フリースクールは令和 6 年度は試行的に実施と伺っているが、利用の状況について伺う。
- ⑦ 校内フリースクールの次年度以降の実施について考えを伺う。